

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
大田市・邑智郡総合事務組合	大田市、川本町、美郷町、邑南町、邑智郡総合事務組合	H27～R4	H27～R4

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指 標		現状 (割合※1) (平成27年度)	目標 (割合※1) (令和5年度) A	実績 (割合※1) (令和5年度) B	実績/目標※2
排出量	事業系 総排出量	2,783t	2,718t (-2.3%)	3,379t (21.4%)	-930%
	1 事業所当たりの排出量	0.70t	0.64t (-8.6%)	0.78t (11.4%)	-133%
	生活系 総排出量	12,461t	11,293t (-9.4%)	11,155t (-10.5%)	112%
	1 人当たりの排出量	162kg/人	154kg/人 (-4.9%)	157kg/人 (-3.1%)	63%
合 計 事業系生活系総排出量合計		15,244t	14,011t (-8.1%)	14,534t (-4.7%)	58%
再生利用量	直接資源化量	689t (4.5%)	594t (4.2%)	663t (4.6%)	-33%
	総資源化量	3,389t (22.2%)	3,877t (27.7%)	5,112t (35.2%)	236%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	2,001t (13.1%)	1,258t (9.0%)	2,638t (18.2%)	-123%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載。

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	有料化(指定ごみ袋制度)	大田市・川本町・美郷町・邑南町	ごみ処理費用負担の公平性の確保、分別徹底等から有料指定袋制を継続していく。	H29～R4	有料指定袋による収集を継続
	12	環境教育	大田市・川本町・美郷町・邑南町	ごみ処理施設の見学会、廃棄物減量等推進員の活用により環境意識の醸成を図る。	H29～R4	小学校・自治会等の見学対応を実施
	13	普及啓発	大田市	ごみ分別の徹底や過剰包装の自粛等を実践するように啓発する。	H29～R4	市民、事業者と連携、3Rに関する瀬策を円滑にするため危険交換情報共有を行う
			川本町・美郷町・邑南町	情報提供や担当職員等を派遣する。また、地域の声を行政に届ける推進員を育成する。	H29～R4	小学校への出前講座を実施
	14	マイバック運動・レジ袋対策	大田市・川本町・美郷町・邑南町	スーパーや販売店等と協力して、マイバック運動やレジ袋配布の自粛を推進する。	H29～R4	マイバッグ運動の継続、民間資源回収システムの利用促進・減量化再資源化の啓発・促進
	15	厨芥ごみ(生ごみ)の発生抑制、再生利用の促進(助成制度)	大田市・川本町・美郷町・邑南町	水切り対策、食品ロス削減への取組推進	H29～R4	食べ残しを減らすため、事業所などが構成員となっている生活環境問題連絡会議において周知を図る
			大田市・川本町	生ごみ堆肥化装置、生ごみ堆肥化容器の助成制度	H29～R4	生ごみ堆肥化装置購入者に対する補助金の交付
			美郷町・邑南町	生ごみ堆肥化容器等活用の啓発と、助成事業に関する調査・検討	H29～R4	
	16	マテリアルリサイクルの推進	大田市・川本町・美郷町・邑南町	広報、パンフレット、施設見学等により、分別の必要性を周知していく。	H29～R4	広報・HP等による啓発
	17	小型家電製品のリサイクル	大田市・川本町・美郷町・邑南町	小型家電製品の効率的なリサイクルのため、ピックアップ回収、拠点回収等の方法を検討する。	H29～R4	充電式電池の資源回収実施
処理体制の構築、変更に関する	20	家庭系ごみ分別の徹底等による再資源化促進	大田市 邑智郡総合事務組合	分別排出徹底の啓発と、再資源化や減容化の継続	H29～R4	ごみ分別のしおりの作成 HPへの掲載

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
るもの	21	事業系一般廃棄物対策	大田市 川本町 美郷町 邑南町	家庭ごみ分別区分に準じた収集・処分を行うため、分別徹底やごみ排出削減の指導を行う。	H29～R4	事業所への啓発活動を継続 持込事業者に対す直接指導を実施
処理施設の整備に関するもの	1	マテリアルリサイクル推進施設の整備	邑智郡総合事務組合	R P F 化対象物の選別ヤードの整備	R4～R4	メーカーヒアリングによる費用の増加が明らかとなり計画を延期
			大田市	(仮称) 大田市可燃物リサイクルセンターの資源回収のため破砕設備の増設及び効率的な処理機能の回復整備	R3	資源回収のために新たに破砕機を設置し、施設の老朽化対策を行った
	2	エネルギー回収推進施設の整備	邑智郡総合事務組合 (大田市)	大田市、邑智郡総合事務組合による可燃ごみ共同処理施設の整備	H30～R3	整備が完了し、現在稼働中
3	最終処分場の整備	邑智郡総合事務組合	資源化及び減量化後の残渣の適正処分のための最終処分場整備	R1～R3	整備が完了し、現在稼働中	
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	1の計画支援	邑智郡総合事務組合	実施設計、発注仕様書等の作成等	R3～R3	
			大田市	発注仕様書等の作成等	R2	発注支援業務の実施
	32	2の計画支援	邑智郡総合事務組合 (大田市)	生活環境影響調査、測量調査、地質調査、基本設計、発注支援業務	H29～R1	発注支援業務の実施
33	3の計画支援	邑智郡総合事務組合	生活環境影響調査、施設発注支援など	H29～H30	発注支援業務の実施	
その他	51	不法投棄対策	大田市・川本町・美郷町・邑南町	不法投棄防止のためのパトロールの継続、不法投棄されにくい環境の整備		パトロールの実施 注意喚起の看板設置
	52	災害等廃棄物に対する対策の推進	大田市・川本町・美郷町・邑南町	「地域防災計画」に従い適正処理を行う。		災害廃棄物処理基本計画の策定

### 3 目標の達成状況に関する評価

#### ①排出量

令和 5 年度目標の数値に対して目標を達成できていない。大きな要因として、コロナ禍による巣ごもりにより、家の片付けごみが大幅に増加したことが考えられる。

#### ②再生利用量

平成 27 年度と比較し概ね横ばいだが、目標は達成できた。大きな要因としては、排出量同様、コロナ禍による巣ごもりにより、家の片付けごみが大幅に増加したことが考えられる。

今後は人口減少に伴い再生利用量の減少が見込まれるため、より一層の啓発が必要と考える。

#### ③最終処分量

令和 5 年度目標の数値に対して目標を達成できていない。災害（火災・水害）が発生したことが要因と考える。

#### (都道府県知事の所見)

##### (ごみ処理)

排出量の項目において、事業系の総排出量などは目標に届かなかったものの、生活系の総排出量は達成している。最終処分量の項目についても、目標に届かなかったが、再生利用量は目標を上回っており、本計画中の各施策の実施によりごみ処理の改善が図られたと考えられる。引き続き環境教育や普及啓発を図るとともに、発生抑制・再使用の推進に関する事業を、より一層取り組んでいただきたい。